

## 視察 ～白潟地区社会福祉協議会から～

9月8日(月)、松江市白潟地区社会福祉協議会の視察(24人)があり、コミセン、社会福祉協議会、女性災害サポート隊、お助けマンの活動について説明を行いました。その後、両地区の置かれた状況は違っても抱える課題が同じであることから、忌憚のない意見交換を行い、有意義な研修会となりました。



## 花植え ～大学駅伝に向け～

9月11日(木)、環境・花づくり部員12人が全日本大学駅伝競走の沿道を飾るプランターの花の苗植えを行いました。50のプランターに、ジニア、マリーゴールド、ペチュニア、ペンタスが植えられました。



10月13日(月)には花が咲き、沿道を彩ることになるでしょう。

## 秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動期間中の9月22日に、交対協役員と各種団体長が「みんなの願い交通安全」の旗を持ち、午前7時から啓発活動を行いました。また、25日には鳶巣幼稚園でチャイルドシート着用の啓発活動も行われました。



秋は日暮れが早くなります。早めにライトを点灯するなど、交通安全に留意し悲惨な事故が発生しないよう気をつけましょう。

## 鳶巣幼稚園 運動会

9月27日(土)、鳶巣幼稚園の運動会が鳶巣コミセンアリーナで開催されました。

園児は6人と少ないですが、「最後まであきらめない」のスローガンどおり、どの種目も一生懸命頑張る姿に、会場から温かい拍手が送られました。



ぴよっこ教室からは7組の参加があり、走った後は園児さん手作りの袋に入ったお土産をもらい大喜びでした。誰もが主役になれる鳶巣幼稚園の素晴らしい運動会でした。



## 鳶巣の文化財

### 大寺薬師(その2) ～ふるさと鳶巣物語から～

令和2年1月～2月にかけて東京国立博物館で開催された日本書紀成立1300年特別展「出雲と大和」において、出雲を代表する平安仏として出展された四天王立像(広目天立像、持国天立像、増長天立像、多聞天立像)は、いずれもカヤの木の一木造りで等身を超える雄大な立像です。これらの仏像は、天平様式を残した出雲様式と言われ、美術的にも優れた作であるということが学会の定説となっています。

野克之氏の「平安・鎌倉時代の木彫仏」(抜粋)には、『四天王立像は、四軀(しく)ともに両手先や持物が後補のため、その姿勢に若干不自然なところがあるが、それを差し引いてもこの諸像を見ると、その堂々とした像様、大地をしっかりと踏みしめるような下半身、怒りを内に秘めたような忿怒(ふんぬ)の表情など、抑制された像の動きの中で全てに破綻がなくうまくまとめられており、中央の仏師の手になるものと考えてよいのではなかろうか。これほどの四天王立像を安置していた寺院の往時の規模は相当なものであったと想像できる。』と、記載されています。【鳶巣の歴史を語ろう会】



【多聞天】



【持国天】



【広目天】



【増長天】